



薄毛・白髪調査 報告書

2016年8月26日

(株)リクルートライフスタイル
ホットペッパービューティーアカデミー

調査概要	P.6	～	P.8
サマリー編	P.9	～	P.59
出現ボリューム	P.9	～	P.10
薄毛調査	P.11	～	P.33
白髪調査	P.34	～	P.53
薄毛調査⇔白髪調査	P.54	～	P.59



調査概要

A 調査概要 ～薄毛調査～

2016年 7月調査	調査目的	薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	インターネット調査										
	対象者条件	全国20～69歳男女、現在薄毛である&薄毛を気にしている										
	回収数	スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 本調査：2154人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
		男性					女性					計
20代		30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代		
回収数	147	315	359	374	345	103	103	103	130	175	2154	
WB後集計対象数	153	328	374	391	360	48	83	98	135	182	2154 (人)	
実査期間	スクリーニング：2016年7月11日～2016年7月13日 本調査：2016年7月15日～2016年7月16日											

2014年 2月調査	調査手法	インターネット調査										
	対象者条件	全国20～59歳男女、薄毛およびその関連症状を気にしている人										
	回収数	スクリーニング：41452人 本調査：2149人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
		男性					女性					計
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回収数	22	134	301	309	-	87	305	563	428	-	2149	
WB後集計対象数	184	374	480	421	-	68	130	239	256	-	2149 (人)	
実査期間	スクリーニング：2014年1月28日～2014年1月31日 本調査：2014年2月4日～2014年2月7日											

A 調査概要 ～白髪調査～

2016年 7月調査	調査目的	➤ 白髪に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出																																														
	調査手法	➤ インターネット調査																																														
	対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在白髪があり白髪染めをしている＆白髪を気にしている＆ヘアサロン利用頻度が3か月に1回以上																																														
	回収数	➤ スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➤ 本調査：1032人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">男性</th> <th colspan="5">女性</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代</th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回収数</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>78</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>109</td> <td>1032</td> </tr> <tr> <td>WB後集計対象数</td> <td>16</td> <td>44</td> <td>64</td> <td>74</td> <td>56</td> <td>10</td> <td>63</td> <td>168</td> <td>242</td> <td>294</td> <td>1032 (人)</td> </tr> </tbody> </table>		男性					女性					計	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	回収数	103	103	103	103	103	78	110	110	110	109	1032	WB後集計対象数	16	44	64	74	56	10	63	168	242	294	1032 (人)
		男性					女性					計																																				
20代		30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代																																						
回収数	103	103	103	103	103	78	110	110	110	109	1032																																					
WB後集計対象数	16	44	64	74	56	10	63	168	242	294	1032 (人)																																					
実査期間	➤ スクリーニング：2016年7月11日～2016年7月13日 ➤ 本調査：2016年7月20日～2016年7月25日																																															

2014年 8月調査	調査手法	➤ インターネット調査																																														
	対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在白髪があり白髪染めをしている＆白髪を気にしている＆ヘアサロン利用頻度が3か月に1回以上																																														
	回収数	➤ スクリーニング：20000人 ➤ 本調査：1035人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">男性</th> <th colspan="5">女性</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代</th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回収数</td> <td>31</td> <td>118</td> <td>119</td> <td>144</td> <td>128</td> <td>21</td> <td>118</td> <td>118</td> <td>119</td> <td>119</td> <td>1035</td> </tr> <tr> <td>WB後集計対象数</td> <td>10</td> <td>38</td> <td>69</td> <td>78</td> <td>59</td> <td>7</td> <td>62</td> <td>162</td> <td>259</td> <td>291</td> <td>1035 (人)</td> </tr> </tbody> </table>		男性					女性					計	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	回収数	31	118	119	144	128	21	118	118	119	119	1035	WB後集計対象数	10	38	69	78	59	7	62	162	259	291	1035 (人)
		男性					女性					計																																				
20代		30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代																																						
回収数	31	118	119	144	128	21	118	118	119	119	1035																																					
WB後集計対象数	10	38	69	78	59	7	62	162	259	291	1035 (人)																																					
実査期間	➤ スクリーニング：2014年7月30日～2014年8月5日 ➤ 本調査：2014年8月5日～2014年8月11日																																															

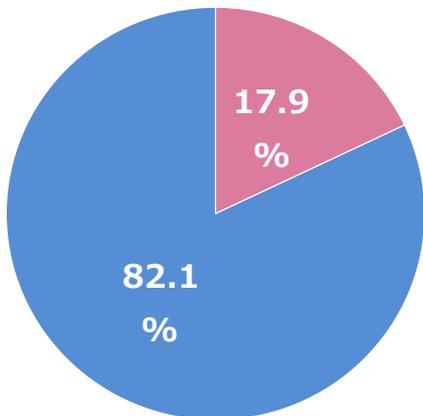


サマリー編 ～出現ボリューム～

A 薄毛/白髪人口のボリュームは？

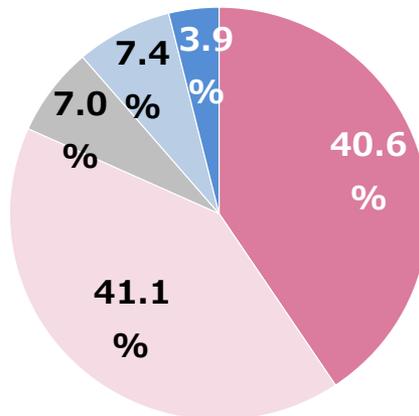
薄毛

<薄毛/白髪である>



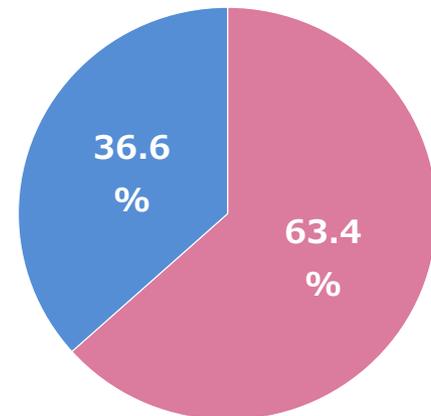
※全体ベース n=50000

<薄毛/白髪が気になる>



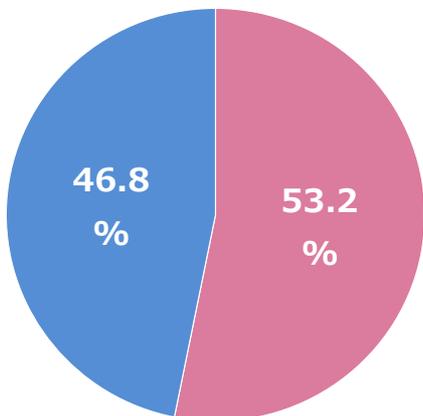
※薄毛ありベース n=8969

<薄毛/白髪対策をしている>

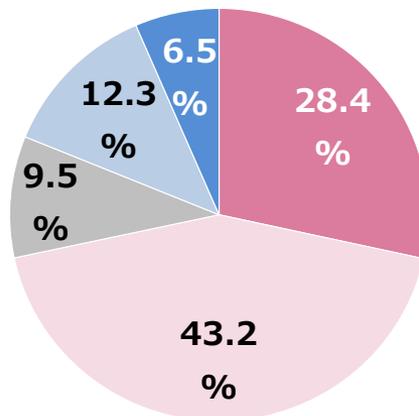


※薄毛が気になる人ベース n=7332

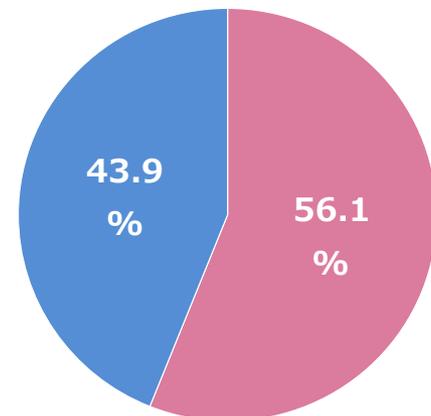
白髪



※全体ベース n=50000



※白髪ありベース n=26576



※白髪ありベース n=26576

はい いいえ

とても気になる やや気になる どちらともいえない あまり気にならない 全く気にならない

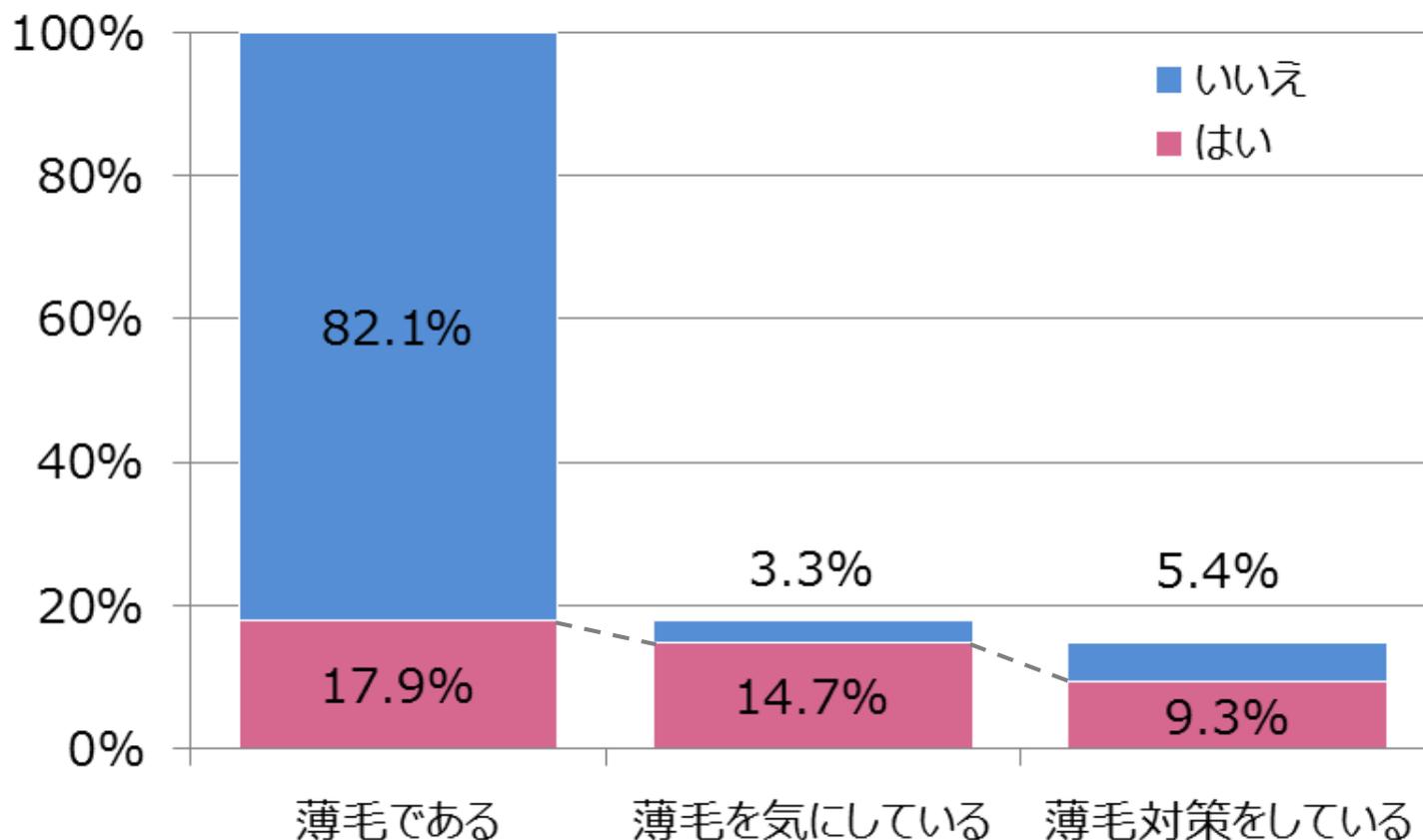
はい いいえ



サマリー編 ～薄毛調査～

A 薄毛人口のボリュームは？(全体ベース)

➤ 現在薄毛である人は全体の2割弱。薄毛であることを気にしていて、薄毛対策をしている人は全体の1割程度

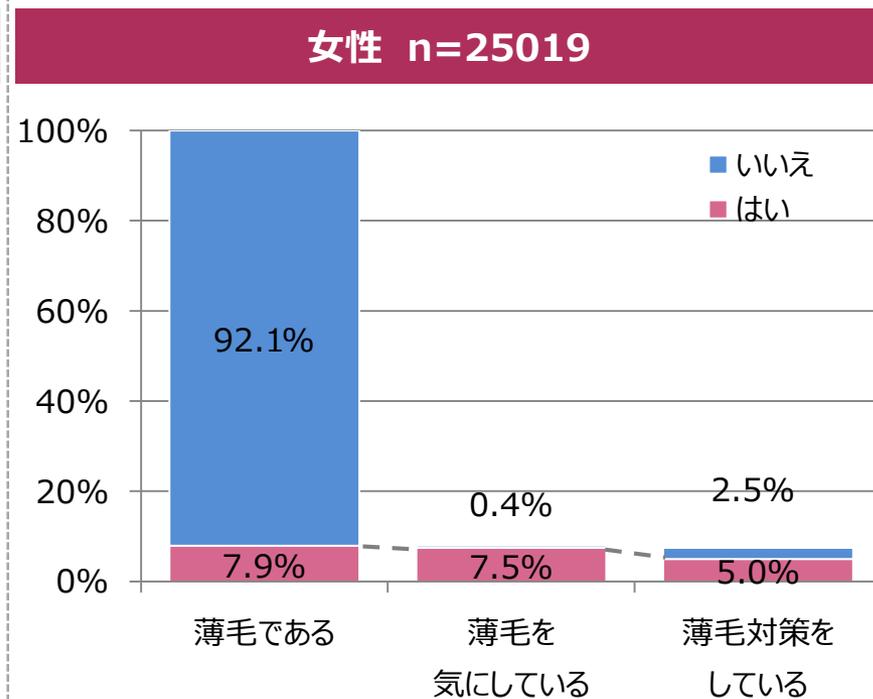
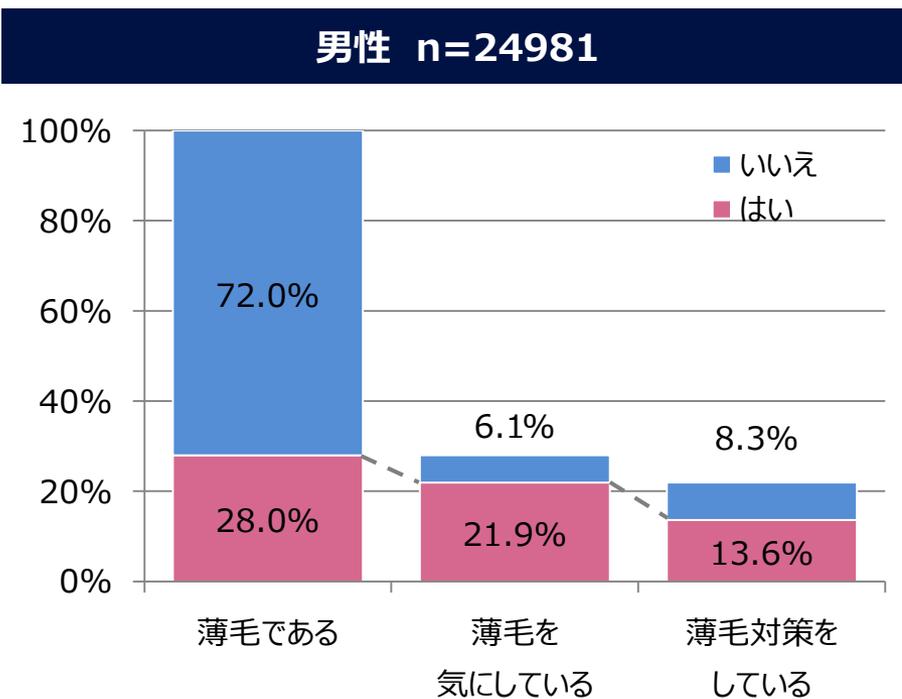


※SCRデータ(n=50000)より

※聴取設問が異なるため、前回調査のデータは割愛

A 薄毛人口のボリュームは？(性別)

- 男性の方が、女性に比べて薄毛人口のボリュームが大きい
- 女性は男性に比べて薄毛人口のボリュームは小さいものの、現在薄毛である女性のほとんどは薄毛が気になっている



※聴取設問が異なるため、前回調査のデータは割愛

A 気になり出した年齢は？ 気になる部位は？

- 男性の方が気になり出すタイミングが早め
- 男性は年代が上がるほど、気になる部位が前頭部から頭頂部に移行していくが、女性は年代問わず分け目と頭頂部が気になる

男性 n=1606

女性 n=548

気になり出した
年齢

平均 **38.3** 歳



平均 **41.4** 歳

気になる部位

1	頭頂部	63.4%
2	前頭部	60.8%
3	分け目	28.2%
4	全体的に	18.1%
5	後頭部	17.7%

1	分け目	68.2%
2	頭頂部	59.0%
3	前頭部	43.8%
4	全体的に	27.9%
5	側頭部	16.7%

【年代別傾向】

- 年代が高くなるほど、前頭部のスコアが低くなり、頭頂部のスコアが高くなる傾向

【年代別傾向】

- 年代問わず、分け目と頭頂部のスコアが高い

A 気になる目線は？

➤ 気になる目線は「他人の目すべて」がトップに挙がるが、男性は「職場の異性」、女性は「同性の友人」の目も気にしがち

気になる目線

男性 n=1606

1	他人の目すべて	40.8%
2	職場の異性	21.8%
3	職場の同性	19.2%
4	異性の友人	18.8%
5	配偶者	14.3%
	他人の目は気にならない	19.8%

【年代別傾向】

- 20代は友人の目、30代は職場の目が気になる傾向が強い
- 50～60代は他人の目は気にならない人が多め

女性 n=548

1	他人の目すべて	60.8%
2	同性の友人	26.1%
3	配偶者	16.6%
4	職場の同性	15.4%
5	異性の友人	13.5%
	他人の目は気にならない	11.0%

【年代別傾向】

- 20～30代の若年層は、「異性の友人」「配偶者」「恋人」など異性の目も気にする傾向が強い

A 薄毛の原因は？ 将来への不安は？

➤ 薄毛の原因について、男性は「遺伝」「加齢」、女性は「加齢」「ホルモンバランス」と考える人が多い。女性は年代が高くなっても、将来への不安が高いまま

男性 n=1606

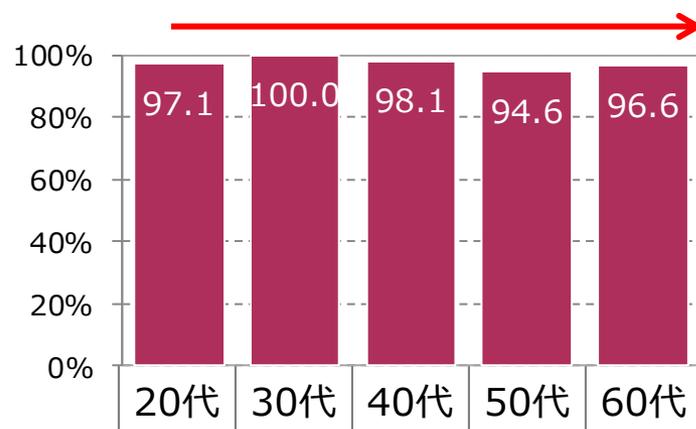
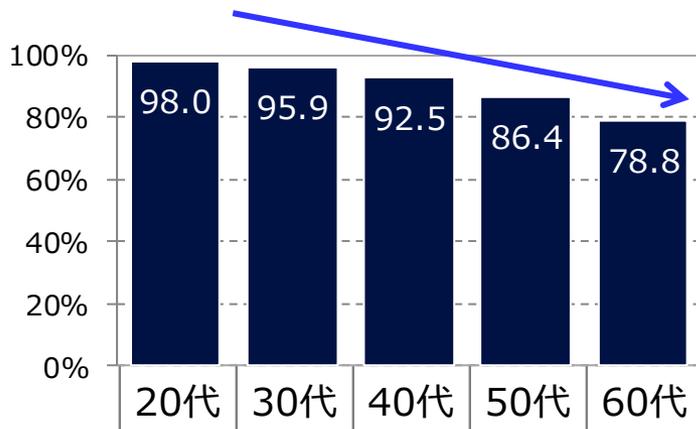
1	遺伝	66.6%
2	加齢・老化	63.8%
3	生活習慣の乱れ	33.8%
4	ストレス	33.2%
5	ホルモンバランスの乱れ	25.5%

薄毛の原因

女性 n=548

1	加齢・老化	70.6%
2	ホルモンバランスの乱れ	51.6%
3	ストレス	43.1%
4	遺伝	40.2%
5	生活習慣の乱れ	28.0%

将来の
薄毛への不安
(TOP2スコア)



A 薄毛対策費は？薄毛対策の情報源は？

- 薄毛対策費の金額は男性の方が高いものの、可処分所得における割合は同程度
- かけてもよい金額の上限は、現在かけている金額よりも800～1,200円ほど高め

		男性 n=1606	女性 n=548
1カ月の可処分所得		平均 40,399 円	平均 25,457 円
薄毛対策費	現在かけている金額	平均 3,673 円 (可処分所得の9.1%)	平均 2,417 円 (可処分所得の9.5%)
	かけてもよい金額の上限	平均 4,896 円 (可処分所得の12.1%)	平均 3,278 円 (可処分所得の12.9%)

A 薄毛対策の情報源は？

➤ 女性は「知人からの口コミ」「理美容師に相談」など周囲にも相談できているが、男性は自分の情報収集だけで完結しがち

薄毛対策の 情報源

男性 n=1606

1	ネット検索	55.2%
2	TV・ラジオ	46.8%
3	新聞	18.1%
4	雑誌	15.3%
5	ネットのバナー広告	13.8%
...
7	美容師・理容師に相談する	8.6%

女性 n=548

1	TV・ラジオ	53.8%
2	ネット検索	47.6%
3	知人から直接聞く口コミ	22.3%
4	美容師・理容師に相談する	21.8%
5	新聞	18.5%

A やっている薄毛対策は？

➤「薄毛対策用シャンプー等」「育毛エッセンス等」など、基本的には自宅で実施できる対策が上位。男性は「市販の薬や漢方」、女性は「ウィッグ・カツラ」が拳がるのが特徴

男性 n=1606

1	薄毛対策用シャンプーやトリートメント	28.5%
2	育毛エッセンス/ローション、発育毛剤	28.2%
3	自宅で手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージ	16.2%
4	生活習慣に気をつける	11.4%
5	市販の薬や漢方	10.2%

普段やっている
薄毛対策

【年代別傾向】

- 若年層ほど「育毛対策用シャンプー等」の利用が多く、年代が高くなるほど「育毛エッセンス等」の利用が増える
- 年代が高くなっても、専門サロンの利用や理美容室への相談は1割に満たない

女性 n=548

1	育毛エッセンス/ローション、発育毛剤	32.0%
2	自宅で手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージ	21.6%
3	薄毛対策用シャンプーやトリートメント	21.4%
4	生活習慣に気をつける	15.0%
5	ウィッグ・カツラ(部分用)	5.9%

【年代別傾向】

- 20～30代は「ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く」「理美容室での相談」などサロンの利用が多いが、年代が高くなるほど減少し、代わりに「育毛エッセンス等」の利用が増える
- 60代は「ウィッグ・カツラ」の利用者が1割強

A やってみたい薄毛対策は？

➤ 男性は「薄毛の病院や専門クリニック」「薄毛専門サロン」など、自宅でできない専門的な対策も上位に挙がる一方、女性は「ヘッドスパ・ヘッドマッサージ」や「ウィッグ・カツラ」で対応しようとしている

今後やってみたい
薄毛対策

男性 n=1606

1	育毛エッセンス/ローション、発育毛剤	19.9%
2	薄毛の病院や専門クリニックで治療	16.0%
3	薄毛対策用シャンプーやトリートメント	14.9%
4	市販の薬や漢方	10.6%
5	薄毛専門サロンに行く	9.9%

【年代別傾向】

- 20～30代は「薄毛の病院や専門クリニックで治療」をやってみたい人が多め

女性 n=548

1	育毛エッセンス/ローション、発育毛剤	23.4%
2	薄毛対策用シャンプーやトリートメント	16.2%
3	ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く	15.5%
4	自宅で手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージ	12.7%
5	ウィッグ・カツラ(部分用)	10.8%

【年代別傾向】

- 若年層ほど「ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く」をやってみたい人が多め

A やっている薄毛対策は？(気になり度合い別)

- 薄毛の気になり度合いが強い方がスコアが高く、色々な対策を行う傾向にある
- ただし【とても気になる】人であっても、大半は自宅で行える対策(発育毛剤・薄毛用シャンプー・ヘッドマッサージなど)を行っており、サロンでの対策や専門的な治療を実施している人は少ない

全体 n=2154

※「とても気になる」と「やや気になる」のスコアの差分で降順ソートし、上位10位を掲載

n=

		薄毛の気になり度合い	
		とても 気になる	やや 気になる
		1112	1042
1	薄毛対策用シャンプーやトリートメント	32.2%	20.8%
2	育毛エッセンス/ローション、発育毛剤	33.8%	24.2%
3	自宅で手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージ	21.0%	13.8%
4	市販の薬や漢方	10.3%	5.8%
5	対策を調べる、周囲の人間に相談する	6.3%	1.9%
6	薄毛/抜け毛に効果のあるサプリメント	6.7%	2.4%
7	自宅の器具でヘッドスパ・ヘッドマッサージ	6.4%	2.4%
8	薄毛の病院や専門クリニックで治療	4.0%	1.3%
9	美容室・理容室で相談する	3.9%	1.8%
10	薄毛専門サロンに行く	2.7%	0.7%

普段やっている
薄毛対策

A やっている薄毛対策は？(可処分所得別)

➤可処分所得が高くなるほど、全体的にスコアが高くなる傾向にあり、様々な対策をしていることがわかる。特に発育毛剤・薄毛用シャンプー・市販薬など、日々コツコツと使用(=消費)するものは、可処分所得の高低によるスコア差が大きい

全体 n=2154

※全体のスコアで降順ソートし、上位10位を掲載

n=

		可処分所得(1か月のトータル金額)			
		月1万円未満	月1万円～3万円未満	月3万円～5万円未満	月5万円以上
		406	770	463	355
1	育毛エッセンス/ローション、発育毛剤	21.6%	28.5%	35.4%	34.7%
2	薄毛対策用シャンプーやトリートメント	20.7%	25.8%	32.8%	31.0%
3	自宅で手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージ	14.1%	19.9%	18.5%	18.3%
4	生活習慣に気をつける	10.9%	12.3%	14.2%	12.5%
5	市販の薬や漢方	4.7%	7.0%	9.4%	14.9%
6	薄毛/抜け毛に効果のあるサプリメント	2.5%	4.2%	5.3%	8.1%
7	自宅の器具でヘッドスパ・ヘッドマッサージ	2.9%	3.9%	5.9%	7.0%
8	対策を調べる、周囲の人間に相談する	2.7%	4.3%	3.8%	6.6%
9	ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く	2.3%	3.2%	2.1%	5.4%
10	美容室・理容室で相談する	3.5%	3.1%	2.0%	3.9%

普段やっている
薄毛対策

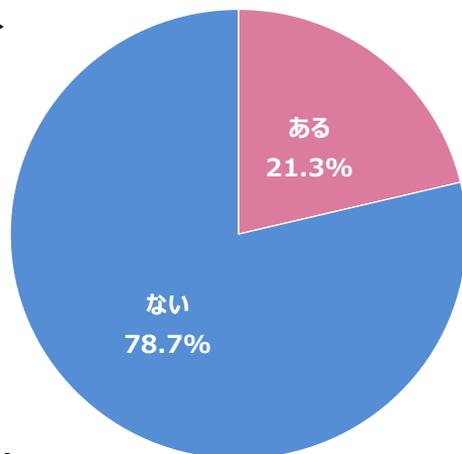
A サロンでの相談経験は？(全体ベース)

- 相談経験有無は男女で大きく差があり、女性は約半数が相談経験ありと回答
- 年代が上がるほど相談経験率は下がる傾向にあり、特に男性でその傾向が強め

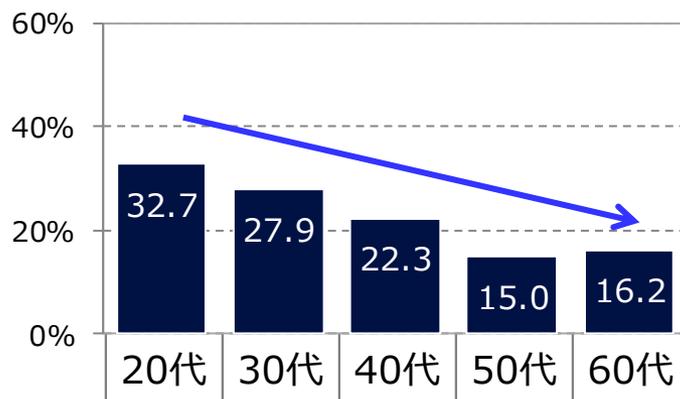
サロンでの
相談経験

男性 n=1606

<全体>

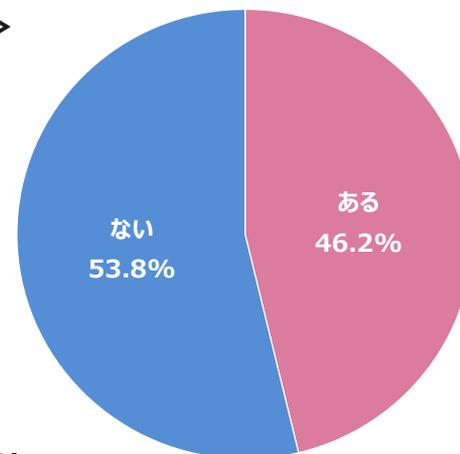


<年代別>

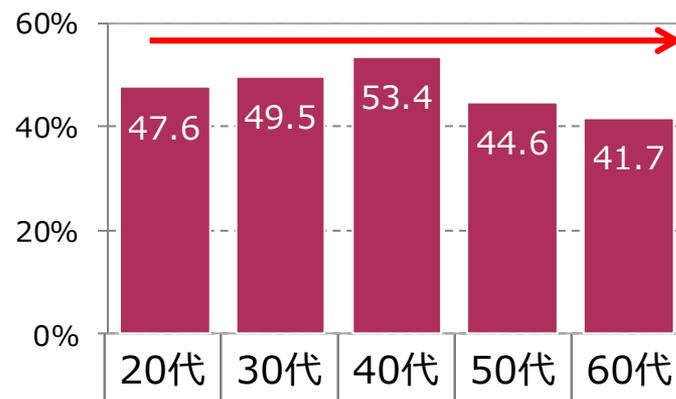


女性 n=548

<全体>



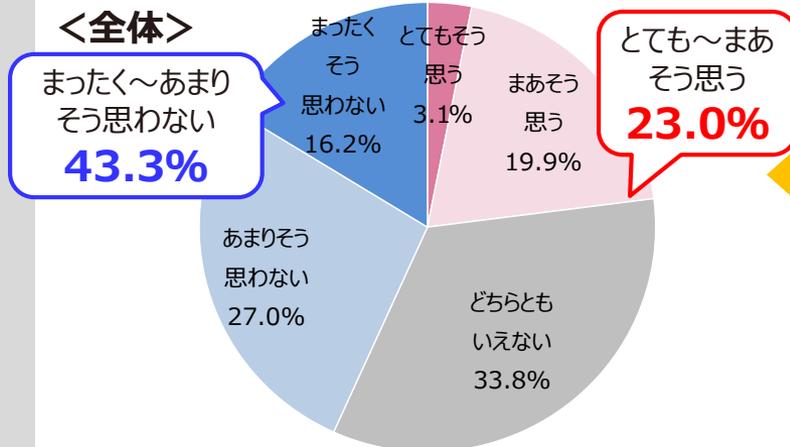
<年代別>



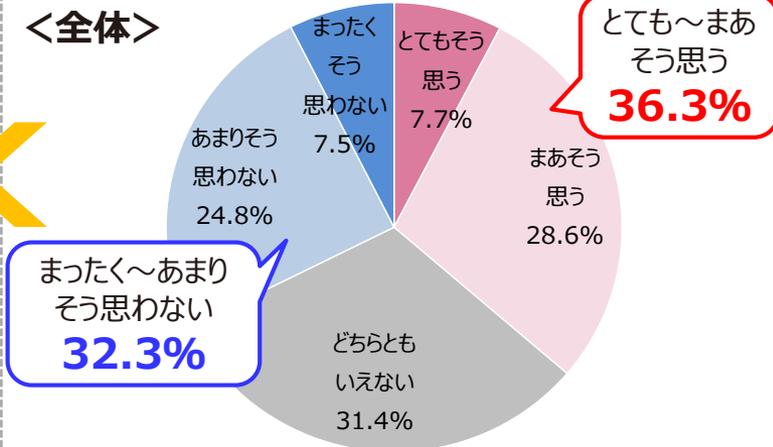
A サロンでの相談意向は？（全体ベース）

- 相談意向も、相談経験同様に男性が低め
- 男女ともに、年代が上がるほど相談意向は低くなる傾向にある

男性 n=1606

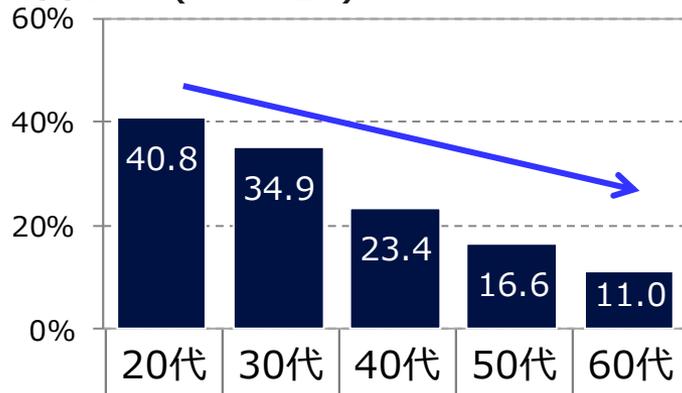


女性 n=548

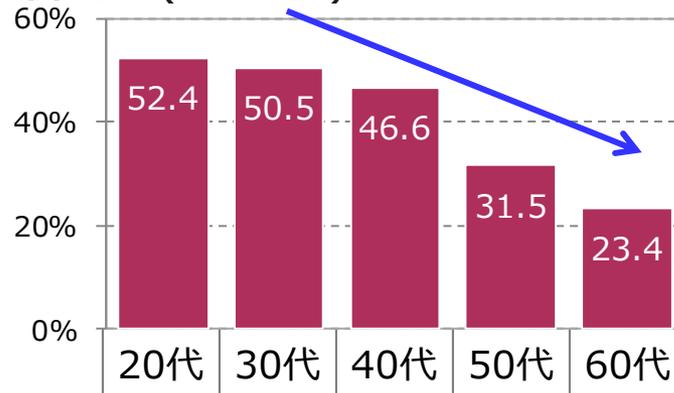


薄毛について
サロン相談意向

<年代別> (TOP2スコア)



<年代別> (TOP2スコア)

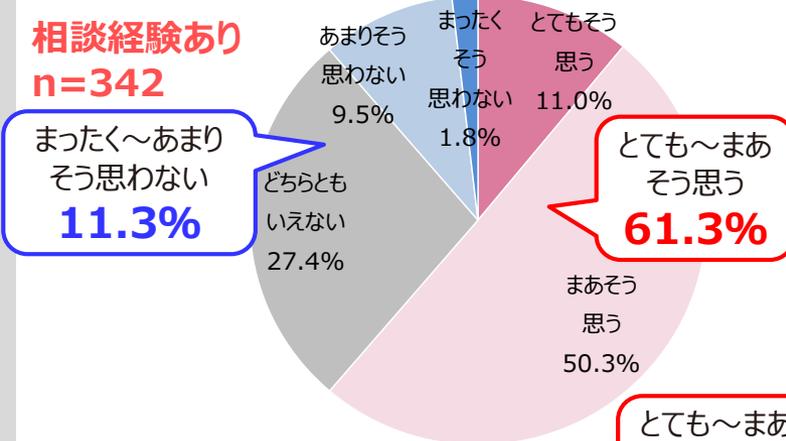


A 相談経験と相談意向の関係は？(相談経験有無ベース)

➤ サロン相談経験ありの人でも、意向ありの人は6割程度に留まる。相談意向なしの1～2割弱の人は、相談時のサロン対応について満足できなかった可能性が高い

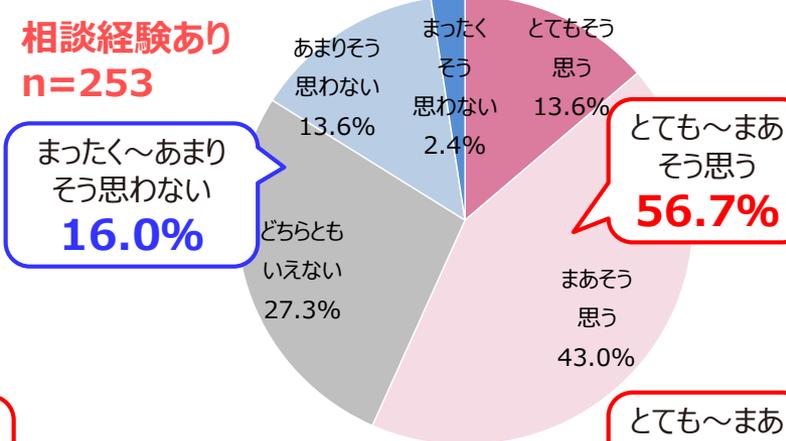
男性

相談経験あり
n=342



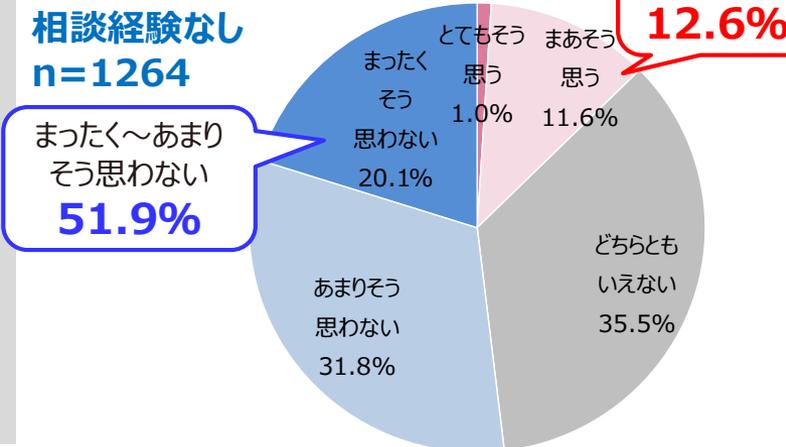
女性

相談経験あり
n=253

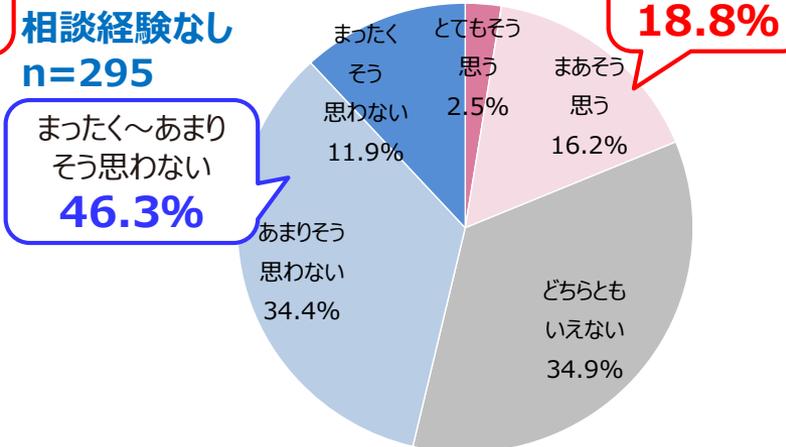


薄毛について
サロン相談意向

相談経験なし
n=1264



相談経験なし
n=295



A サロンでの相談意向ありの理由は？

➤「薄毛をカバーする髪型」など現在の薄毛の対処のほか、「対策・予防策の情報」「対策メニューや商品の紹介」など、プロならではの情報提供を期待している

薄毛について サロン相談意向

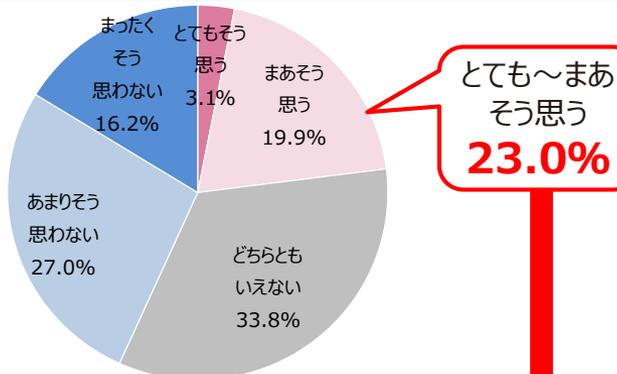
サロンで 相談したい理由

男性 n=369
女性 n=199

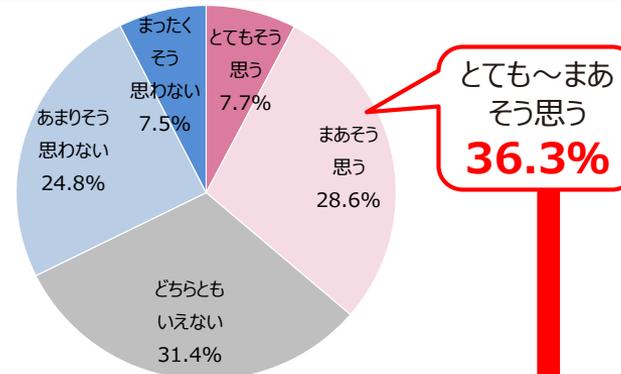
【年代別傾向】

・60代の6割が「対策メニューやケア商品の紹介」を要望

男性 n=1606



女性 n=548



1	薄毛をカバーする髪型にしてほしい	59.3%
2	対策・予防策に関する情報を教えてほしい	52.8%
3	頭皮や髪の状態について、診断してほしい	49.7%
4	対策・予防メニューやシャンプーなどのケア商品を紹介してほしい	41.5%
5	周囲の人間以外の誰かに悩みを聞いて欲しい	12.1%

1	薄毛をカバーする髪型にしてほしい	68.4%
2	対策・予防策に関する情報を教えてほしい	56.5%
3	頭皮や髪の状態について、診断してほしい	48.3%
4	対策・予防メニューやシャンプーなどのケア商品を紹介してほしい	32.7%
5	周囲の人間以外の誰かに悩みを聞いて欲しい	6.2%

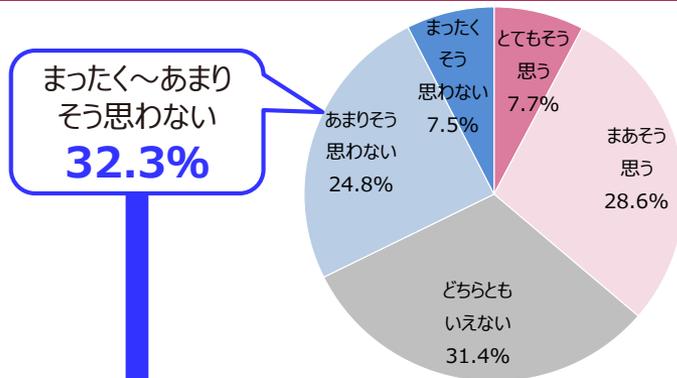
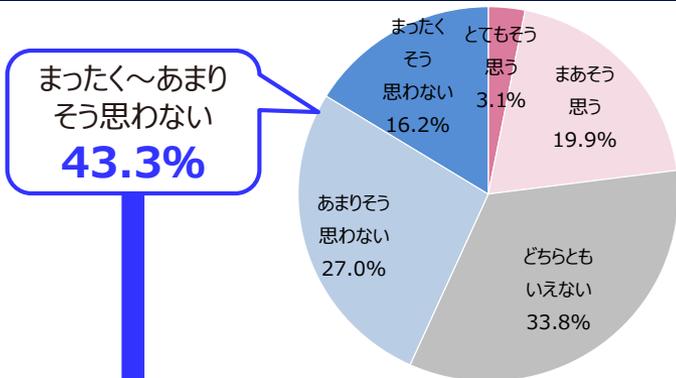
A サロンでの相談意向なしの理由は？

➤「理美容室で相談することではない」意識が根強いいため、サロンで気軽に相談できるというアピールが必要。女性は「商品売りつけられそう」な不安も大きい

男性 n=1606

女性 n=548

薄毛について
サロン相談意向



サロンで
相談したくない
理由

男性 n=695
女性 n=177

1	美容室・理容室で相談することではないと思うため	55.6%
2	悩みを言えるほど親しくないため	33.8%
3	相談してもいいアドバイスがもらえないと思うため	27.0%
4	言い出すのが恥ずかしいため	20.3%
5	商品売りつけられそう気がする	17.1%

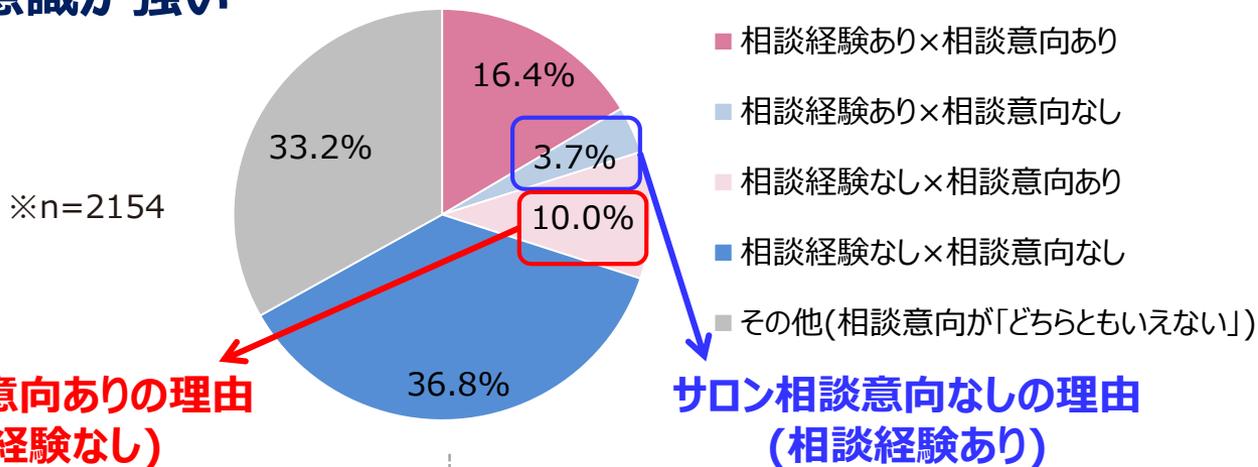
1	美容室・理容室で相談することではないと思う	42.2%
2	商品売りつけられそう気がする	40.3%
3	悩みを言えるほど親しくない	36.8%
4	相談してもいいアドバイスがもらえないと思う	34.6%
5	言い出すのが恥ずかしい	26.3%

【年代別傾向】

・男女ともに、若年層ほど「親しくない」「言い出すのが恥ずかしい」が高め

A 相談意向あり/なしの理由は？(相談経験有無別)

- 相談経験はないが相談意向はある人は、「対策の情報」「薄毛をカバーできる髪型」をサロンに期待している
- 相談経験はあるが相談意向はない人は、以前の経験からか、「いいアドバイスがもらえない」という意識が強い



サロン相談意向ありの理由 (相談経験なし)

1	対策・予防策に関する情報を教えてほしい	56.7%
2	薄毛をカバーする髪型にしてほしい	56.3%
3	頭皮や髪の状況について、診断してほしい	48.6%
4	対策・予防になるメニューやシャンプーなどのケア商品を紹介してほしい	40.3%
5	周囲の人間以外の誰かに悩みを聞いて欲しい	8.1%

サロン相談意向なしの理由 (相談経験あり)

1	相談してもいいアドバイスがもらえないと思う	45.5%
2	美容室・理容室で相談することではないと思う	35.9%
3	商品売りつけられそうな気がする	34.0%
4	追加のメニュー(施術)を勧められそうな気がする	19.6%
5	悩みを言えるほど親しくない	17.6%

A サロンで相談したくなる状況とは？(相談したくない人ベース)

- 5～6割の人は、「どんな状況でも相談したくない」と強い抵抗感を持っている
- カウンセリングやヒアリングで聞き出してほしい、美容の悩みを相談できるスタッフに相談したいという要望が挙がる

男性 n=695

1	どんな状況でも相談したくない	58.1%
2	カウンセリングシートがあれば	15.0%
3	スタイリストとは別に、美容の悩みを相談できるスタッフがいるサロンであれば	14.3%
4	カウンセリングや施術中などに、髪の毛の悩みについて聞いてくれたら	12.8%
5	事前にネット上で悩みを伝えることができれば	7.1%

女性 n=177

1	どんな状況でも相談したくない	45.8%
2	カウンセリングや施術中などに、髪の毛の悩みについて聞いてくれたら	20.4%
3	スタイリストとは別に、美容の悩みを相談できるスタッフがいるサロンであれば	16.1%
4	カウンセリングシートがあれば	12.1%
5	事前にネット上で悩みを伝えることができれば	11.0%

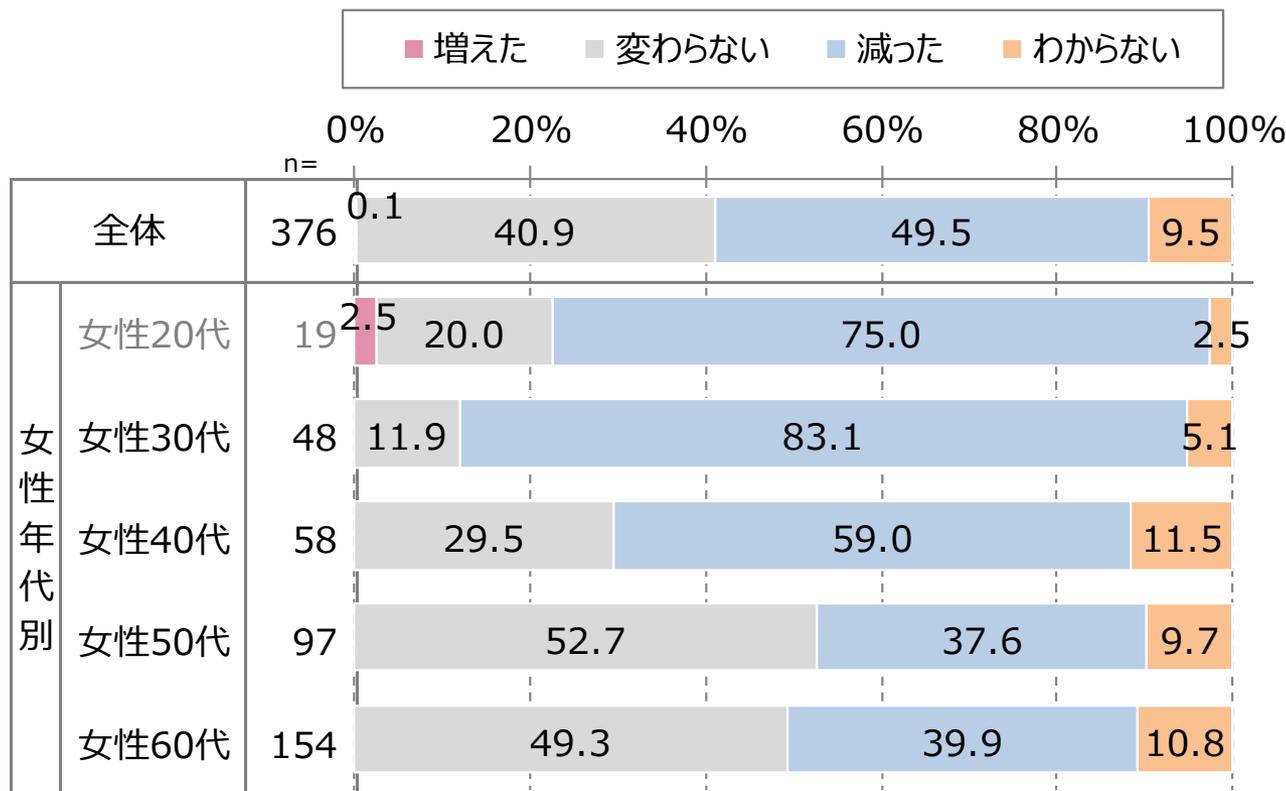
サロンで
相談したくなる
状況

【年代別傾向】

- 年代が高くなるほど「どんな状況でも相談したくない」は高くなる傾向にあり、50～60代では6割を超える

A 出産による髪の毛のボリュームの変化は？

➤20～30代女性の8割前後は、出産によって髪の毛のボリュームが減ったと回答。出産前後でヘアリングをすると、薄毛の悩みを引き出しやすい可能性がある



※20代は「n < 30」のため参考値

※40代以降で「変わらない」のスコアが高くなる要因として、出産時の記憶が薄れていることや、出産よりも後の薄毛の進行の方が気になっていて過去の出産時のボリュームダウンは相対的に気にならなくなっていることなどが考えられる。出産が多い20～30代は8割前後が「減った」と回答しているため、出産したその時は薄毛を気にしやすい傾向がうかがえる

男性

女性

将来への不安

- 若年層ほど不安が大きく、年代が上がるほど不安度合いは下がる傾向
- ただし、60代でも8割弱の人は不安あり

- 年代にかかわらず不安が大きい
- 60代でも95%の人が不安を感じている

気になる目線

- 特に異性の目が気になる

- 年代問わず、常に意識しているのは同性からの目線
- ただし、若年層は異性の目も気にする

気になる部分

- 加齢とともに前頭部から頭頂部へと移る

- 年代問わず、分け目と頭頂部

薄毛対策

- 20～40代の間は薄毛対策用シャンプー・トリートメント等の利用、年代が上がると育毛エッセンス等の利用が増える
- 専門サロンの利用や病院での治療は、年代が上がっても1割に満たない

- 20～30代はサロンの利用(理美容室で相談、ヘッドスパ・ヘッドマッサージなど)が多めだが、加齢とともに減少
- 一方で、育毛エッセンス等の利用は年代が上がるほど増加
- 60代は1割強がウィッグ・カツラを利用

男性

女性

サロンでの
相談経験・
相談意向

- 相談経験があるのは**全体の2割程度**で、**若年層**では**3割程度**が経験
- **年代が上がると経験率は減少**する傾向
- 相談意向も**若年層ほど高め**

- どの年代でも**4割以上**が**経験あり**
- 若年層では**5割弱**が**経験あり**
- 相談意向も**若年層ほど高め**

サロンに
期待すること

- **薄毛をカバーする髪型、頭皮や髪**の診断、**対策予防策の情報**を期待
- 60代の6割は**対策メニューやケア商品**の紹介を望んでいる

- **薄毛をカバーする髪型、頭皮や髪**の診断、**対策予防策の情報**を期待

サロンに
相談しない理由

- **そもそも理美容院で相談することではない**という意識が強い
- 相談できるほど親しくない、言い出すのが**恥ずかしい意識は若年層で強め**

- **そもそも理美容院で相談することではない**という意識のほか、**商品売りつけられそう**という不安が大きい

サロンで相談
したくなるには

- **50～60代は特に抵抗感が強く**、どんな状況でも相談したくない人が**6割強**

- **カウンセリングや施術中**に髪の悩みについて聞いてもらえると、相談しやすい

男性

女性

その他

- —



サロン利用
アップへのヒント

➤ 可能性が高い20～40代を狙う

- ✓ 20～40代はサロンでの相談経験や相談意向が高めの傾向にあり、ターゲットとして狙いやすい

➤ 導入は、薄毛をカバーできる髪型

- ✓ サロンに対して「薄毛をカバーできる髪型の提案」を期待する人が多いため、導入として提案できると、それ以降のサロン利用に繋がりがやすいと考えられる

➤ 追加料金不要の範囲内で対策を提案

- ✓ 商品や追加メニューを売りつけられそうという不安が大きいと、まずは薄毛をカバーする髪型や自宅で行えるヘアマッサージなど、無料の範囲内での提案やアドバイスをすると効果的
- ✓ 物販や追加メニューの提案は、他メニューや商品の受け入れ具合などを加味して慎重に提案することが必要

➤ きっかけはカウンセリングや施術中の会話で

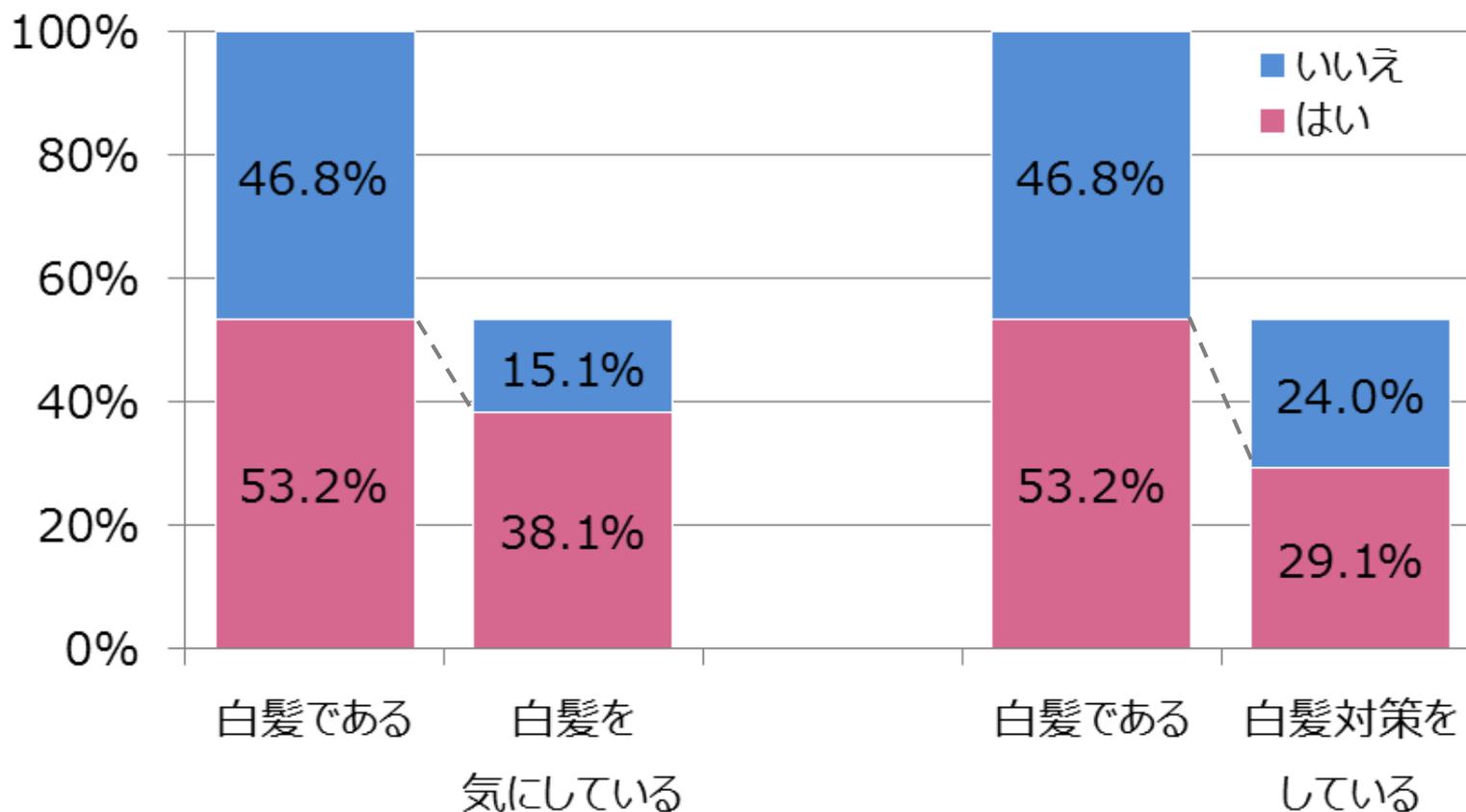
- ✓ カウンセリングや施術中の会話で聞いてもらえると相談したくなる人が多いと、サロン側からきっかけを与えてあげることで、相談に繋がりがやすくなる



サマリー編 ～白髪調査～

A 白髪人口のボリュームは？(全体ベース)

- 現在白髪である人は全体の過半数。白髪を気にしている人は全体の4割程度、白髪対策をしている人は全体の3割程度である



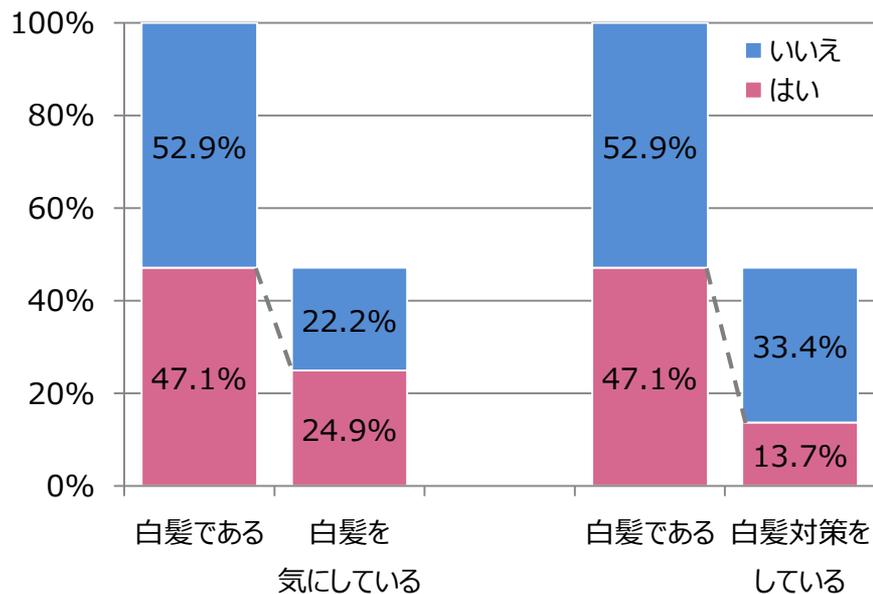
※SCRデータ(n=50000)より

※聴取設問が異なるため、前回調査のデータは割愛

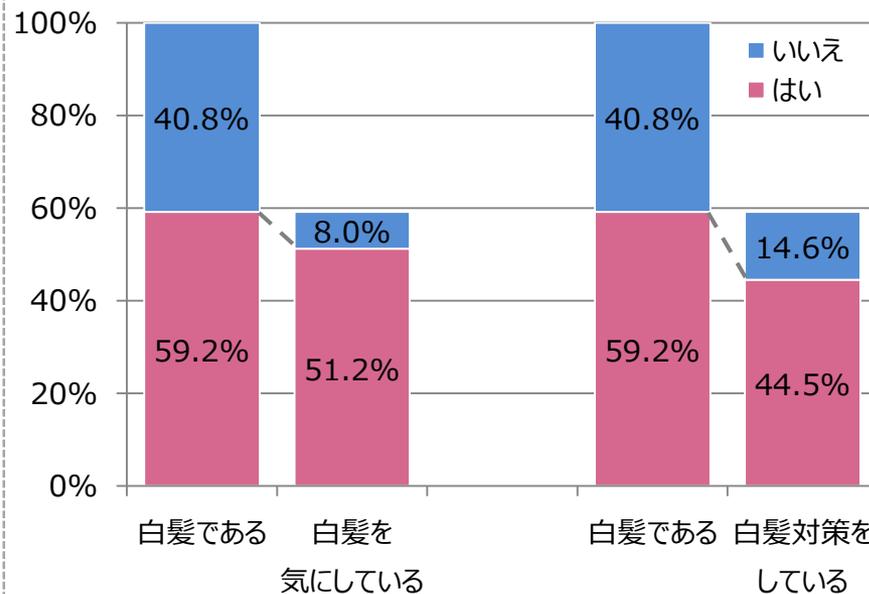
A 白髪人口のボリュームは？(性別)

➤ 男性に比べて、女性の方が現在白髪である人の割合が高め。かつ、その中で白髪を気にしている人や白髪対策をしている人の割合も女性の方が高く、女性は男性よりも白髪を気にする傾向にある

男性 n=24981



女性 n=25019

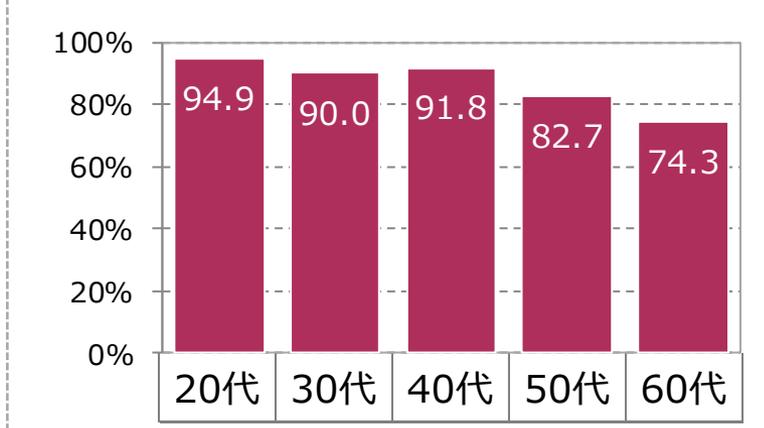
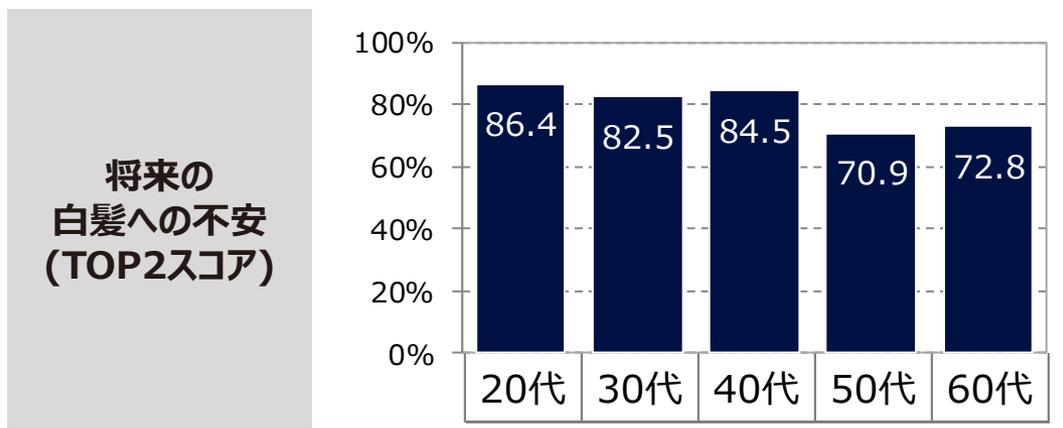


※聴取設問が異なるため、前回調査のデータは割愛

A 白髪が気になり出した年齢は？ 将来への不安は？

➤ 男女ともに、20～40代の若年層ほど将来への不安が高い。ただし、60代でも7割強は不安を抱いており、年代が高くなっても白髪は気になることがわかる

		男性 n=254	女性 n=778
年齢	気になり出した年齢	平均 37.1 歳	平均 41.7 歳
	白髪染めを始めた年齢	平均 39.8 歳	平均 42.6 歳
	白髪染めを続けたい年齢	平均 62.3 歳 ※上限は無く、ずっと続けたい 29.1%	平均 70.5 歳 ※上限は無く、ずっと続けたい 37.3%



A 白髪染めの理由は？

➤若く・かっこよく・いい印象に見られたいなど、男性は「プラスイメージに上げたい」という気持ちで白髪染めをする一方、女性は身だしなみ・清潔感など「マイナスイメージを持たれたくない」という気持ちも白髪染めの大きな理由となっている

男性 n=254

1	若く見られたいから	53.9%
2	白髪がない方がかっこ良いから	43.1%
3	イメージ・雰囲気を変えたいから	27.1%
4	いい印象を持たれたいから	24.1%
5	自分自身が気になるから	21.8%

白髪染めをする理由

女性 n=778

1	身だしなみとして必要だから	48.0%
2	若く見られたいから	47.1%
3	自分自身が気になるから	44.8%
4	白髪がない方がかっこ良いから	40.9%
5	清潔感があるように見られたいから	30.5%

【年代別傾向】

- 「身だしなみとして必要」という意識は50～60代で高め
- 20～30代では「白髪がない方がかっこ良い」「年相応に見られたい」が高め

A 気になる視線は？ / 白髪染めのタイミングは？

- 男性は職場・友人・配偶者など、「異性」の目を気にする傾向が女性よりも強い
- 女性は「大事なイベント前」に白髪を染めて身なりを整える場合も多い

男性 n=254

女性 n=778

気になる視線

1	他人の目すべて	31.4%
2	職場の異性	29.7%
3	職場の同性	24.4%
4	異性の友人	24.2%
5	配偶者	19.1%

1	他人の目すべて	53.1%
2	同性の友人	34.4%
3	職場の同性	22.8%
4	異性の友人	16.1%
5	配偶者	14.8%

白髪染めの
タイミング

1	自分自身が気になったときに	79.1%
2	自分が決めている頻度に沿って定期的に	26.3%
3	大事なイベントや行事が控えているとき	17.5%
4	ちょっとしたイベントのとき	11.8%
5	他人に指摘されたとき	5.5%

1	自分自身が気になったときに	85.2%
2	大事なイベントや行事が控えているとき	36.5%
3	自分が決めている頻度に沿って定期的に	23.2%
4	ちょっとしたイベントのとき	18.8%
5	他人に指摘されたとき	4.2%

A やっている/やってみたい白髪対策は？

➤ 男性は専門サロンや理美容室での白髪染めをやってみたいと思っているものの、普段は自宅染めが圧倒的に多い

男性 n=254

普段やっている
白髪対策

1	自宅で市販の白髪用ヘアカラーで白髪染め	66.5%
2	自宅で市販のヘアカラー/おしゃれ染め	15.4%
3	理美容室での白髪染め	13.0%
4	白髪を抜く・切る	11.4%
5	白髪を徐々に染めていくシャンプー等を利用する	10.9%

女性 n=778

1	自宅で市販の白髪用ヘアカラーで白髪染め	49.5%
2	理美容室での白髪染め	47.6%
3	理美容室でのヘアカラー/おしゃれ染め	17.5%
4	白髪を徐々に染めていくシャンプー等を利用する	13.4%
5	スティック(塗る)タイプの白髪隠しを利用する	11.9%

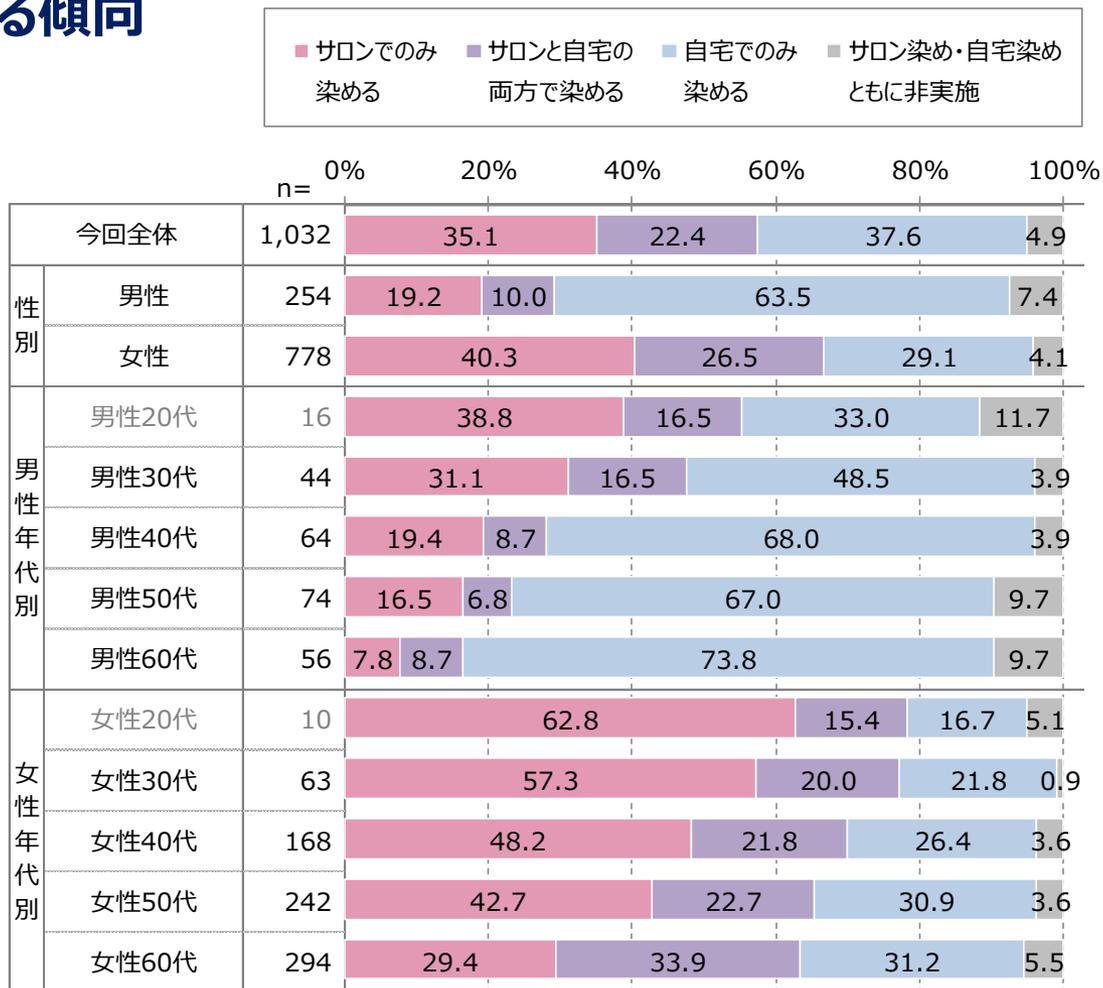
今後やってみたい
白髪対策

1	カラー専門サロンや白髪染め専門サロンでの白髪染め	19.1%
2	美容室・理容室での白髪染め	18.8%
3	白髪を徐々に染めていくシャンプー等を利用する	17.6%
4	白髪によいとされる食生活を心がける	15.3%
5	白髪によいとされる育毛剤を利用する	11.3%

1	理美容室でヘッドスパ・ヘッドマッサージ	26.5%
2	白髪を徐々に染めていくシャンプー等を利用する	20.5%
3	白髪によいとされる食生活を心がける	16.0%
4	ウィッグを利用する	14.9%
5	白髪によいとされる育毛剤を利用する	11.9%

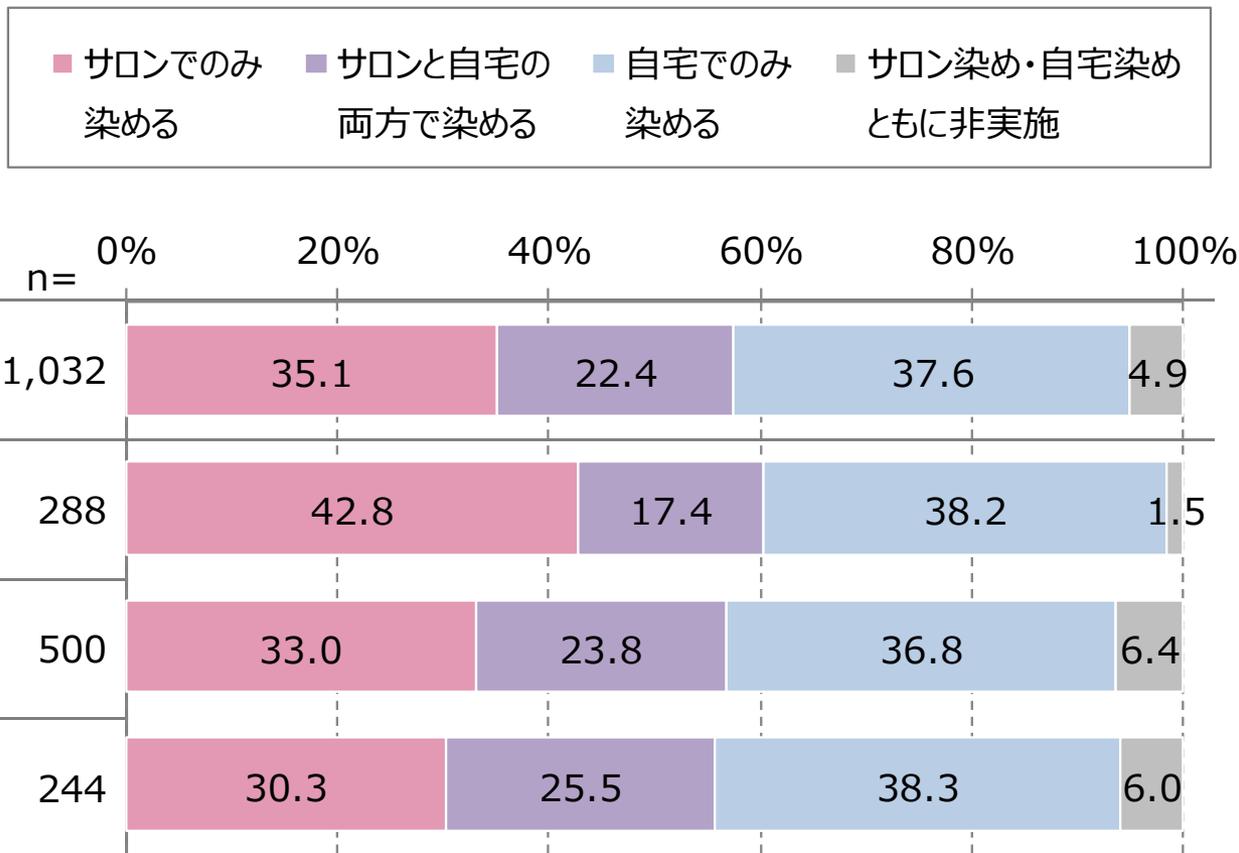
A やっている白髪対策は？(性年代別)

➤ 男性の6割強は自宅でのみ染めており、年代が上がるほどサロンの利用率は下がる傾向にある。女性も、年代が上がるほど自宅染めのみ、もしくは自宅染めとの併用が増える傾向



A やっている白髪対策は？(サロン利用頻度別)

➤ サロン利用頻度が高いほど、白髪染めをサロンでのみ行う人が多い。ただし利用頻度にかかわらず、自宅染めのみ実施する人は一定数(4割程度)存在する



A 白髪対策の情報源は？

➤ 女性は「理美容師に相談」「知人の口コミ」など周囲の人間に相談できている人が多いのに対し、男性はメディアやネットを通じた情報収集がメイン

白髪対策の情報源

男性 n=254

1	TV・ラジオ	50.8%
2	ネット検索	27.2%
3	新聞	16.0%
4	美容師・理容師に相談する	15.0%
5	ネットのバナー広告	14.0%

【年代別傾向】

- 20～30代の2割前後は「美容総合サイト/口コミサイト」「理美容師に相談」を利用

女性 n=778

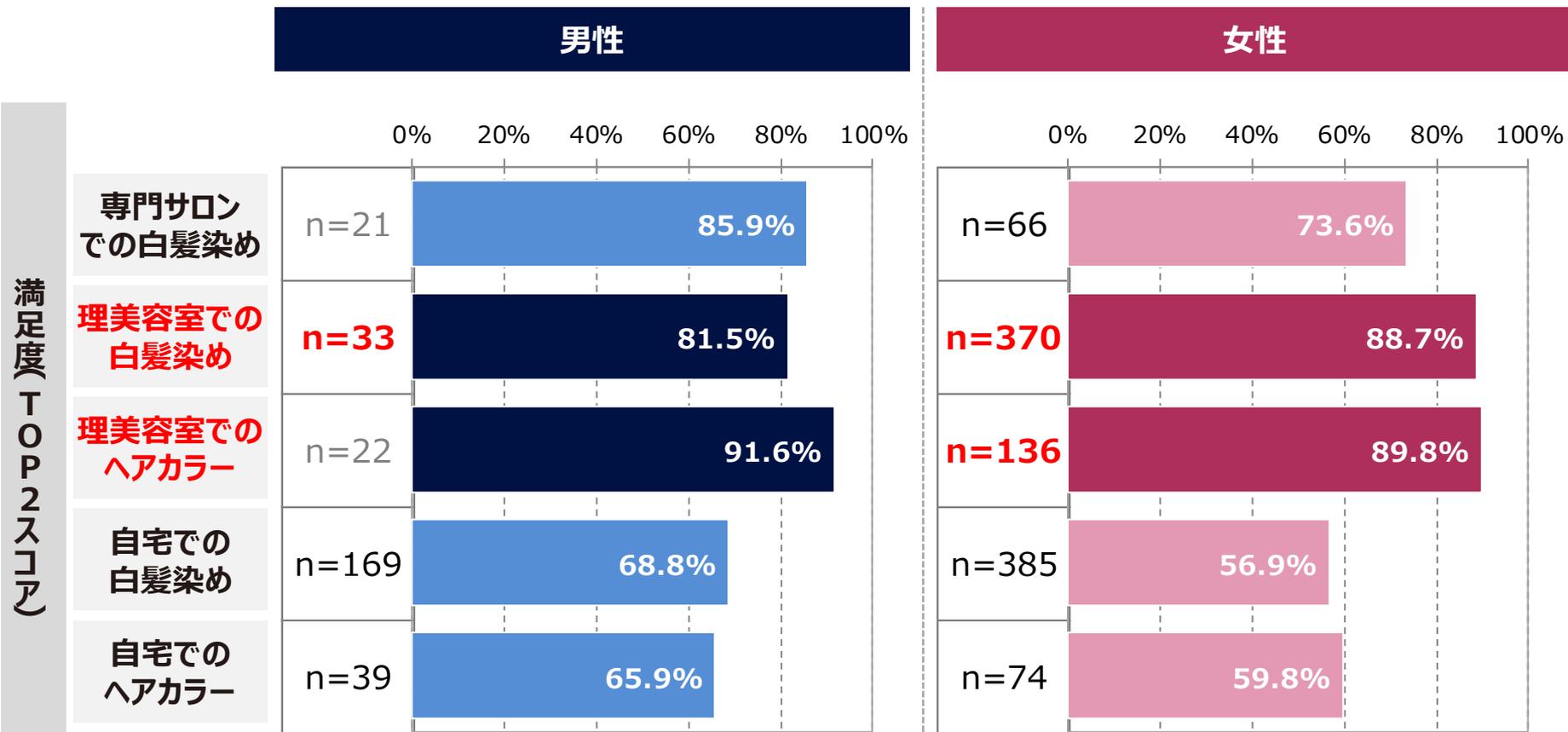
1	TV・ラジオ	49.2%
2	美容師・理容師に相談する	43.5%
3	知人から直接聞く口コミ	20.4%
4	ネット検索	19.1%
5	美容総合サイト/口コミサイト	12.6%

【年代別傾向】

- 20～30代の2割強は「美容総合サイト/口コミサイト」を利用

A 白髪対策の満足度は？

➤ 自宅染めの満足度(6~7割)に比べて、サロン染めの方が満足度が高め(7~9割)の傾向があり、自宅染めとサロン染めの満足度に差を感じていることが分かる



※男女いずれかが「n<30」の白髪対策は割愛
 ※「n<30」のスコアは参考値

A サロンで白髪染めをする理由/しない理由は？

➤ 男性は仕上がりに加え、カラーやヘアスタイルの提案があることもサロン染めの後押しになっている。価格の高さをハードルに感じる人が多く、その他にも時間がかかること、面倒くささなどもネックになっている

サロンで白髪染めをする理由

男性 n=57
女性 n=467

男性	
1	仕上がりがきれいだから 45.6%
2	自分に似合うカラーやヘアスタイルの提案をしてくれるから 43.8%
3	カットなど他のメニューがまとめてできて楽だから 38.5%
4	自分でやるのは面倒だから 32.5%
5	髪・頭皮にやさしい/やさしそうだから 24.9%

女性

1	仕上がりがきれいだから 70.6%
2	カットなど他のメニューがまとめてできて楽だから 50.7%
3	自分でやるのは面倒だから 49.2%
4	自分でやるより色持ちするから 40.7%
5	自分に似合うカラーやヘアスタイルの提案をしてくれるから 37.8%

サロンで白髪染めをしない理由

男性 n=161
女性 n=226

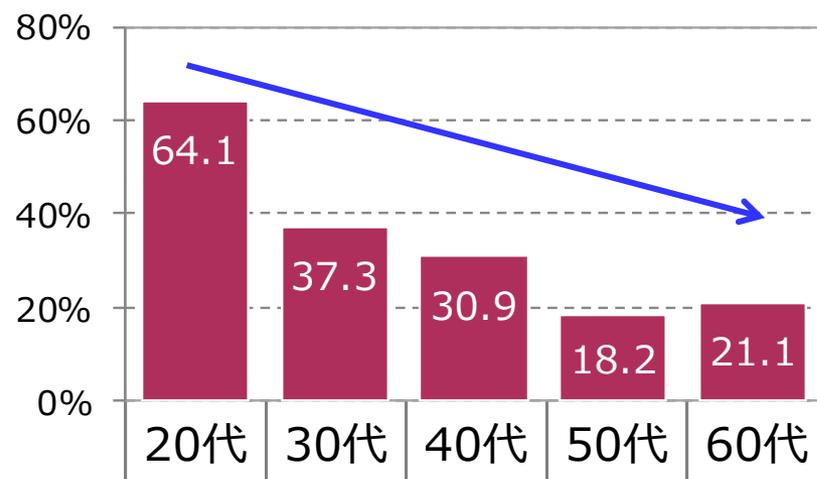
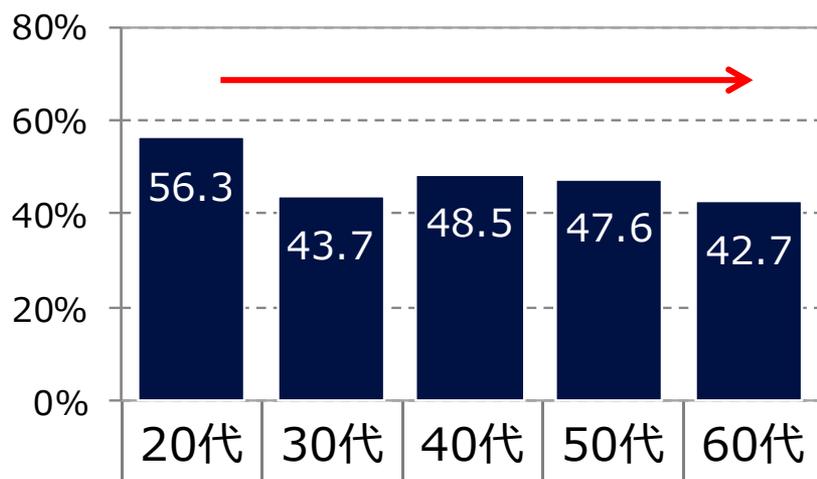
1	価格が高いから 81.2%
2	行くのが面倒だから 42.4%
3	時間がかかるから 29.4%
4	自分の好きなタイミングでやりたいから 16.1%
5	自分で染める方が楽だから 11.3%

1	価格が高いから 79.9%
2	時間がかかるから 47.7%
3	行くのが面倒だから 39.2%
4	自分の好きなタイミングでやりたいから 30.1%
5	自分で染める方が楽だから 24.3%

A サロンで白髪染めだけをオーダーするのは抵抗がある？

- 特に20代の若年層は、サロンで白髪染めだけのオーダーをすることに抵抗を感じやすい。また、女性は年代が高くなるほど抵抗感は薄れるものの、男性は年代が上がっても抵抗を感じる人が多い。若年層と男性向けに、オーダーしやすい環境づくりが必要だと考えられる

美容室・理容室で「白髪染め」だけのオーダーはしづらい
(TOP2スコア)



A 自宅染めで困ることは？

➤ サロン染めの実施理由で挙げた「仕上がりがきれい」とは対照的に、「ムラなく均一に染められない」という仕上がりに関する不満が多い。また、「部屋や洋服が汚れる」「準備や片付けの手間」など、染める作業の前後での手間を億劫に感じている人も多い

自宅染めで 困ること

男性 n=161

1	髪全体をムラなく均一に染められない/染め残した部分がある	41.9%
2	溶剤で洋服や、部屋が汚れてしまう	29.4%
3	準備や片付けなどの手間がかかる	22.8%
4	髪が傷みやすい	18.4%
5	新しく生えてきた部分と、既に染めてある部分に色の段差ができる	17.4%

女性 n=226

1	髪全体をムラなく均一に染められない/染め残した部分がある	44.4%
2	髪を細かく分けとりながら、きちんと染めていく手順が面倒	36.1%
3	染めた部分の色がすぐに落ちて、きれいな髪色が続かない/白髪が見えてくる	22.1%
4	準備や片付けなどの手間がかかる	21.0%
5	髪が傷みやすい	21.0%

A 白髪の男性/女性へのイメージは？

- 女性からは白髪の男性に対するポジティブなイメージも挙がりやすく、男性の白髪が魅力的な要素に映る場合がある
- 白髪の女性は、男性・女性双方からネガティブなイメージを抱かれやすい

男性 n=254

1	老けてみえる	69.7%
2	疲れてみえる	31.5%
3	地味	20.0%
4	落ち着いた	19.8%
5	シンプル、飾らない	13.6%

白髪の男性へのイメージ

女性 n=778

1	老けてみえる	55.9%
2	落ち着いた	35.8%
3	シンプル、飾らない	28.1%
4	疲れてみえる	17.2%
5	カッコいい、素敵	13.6%

白髪の女性へのイメージ

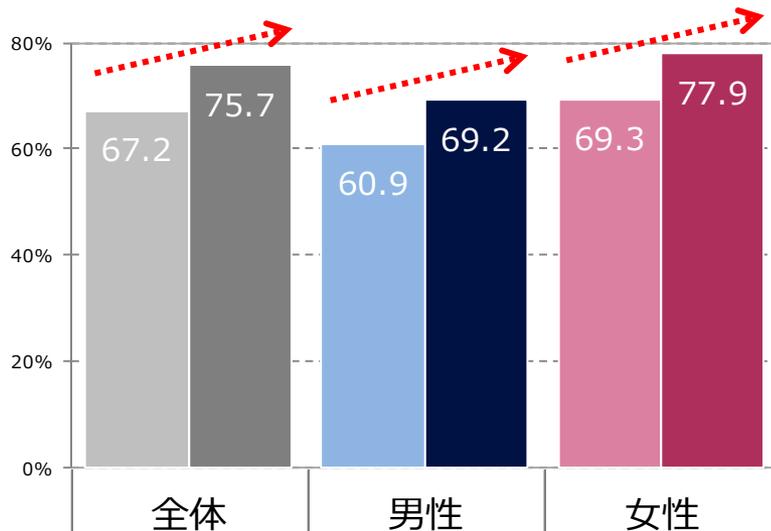
1	老けてみえる	74.1%
2	疲れてみえる	35.0%
3	地味	21.5%
4	身なりに手を抜いている	17.6%
5	好感が持てない	12.7%

1	老けてみえる	76.8%
2	疲れてみえる	40.0%
3	地味	22.9%
4	身なりに手を抜いている	21.9%
5	シンプル、飾らない	20.0%

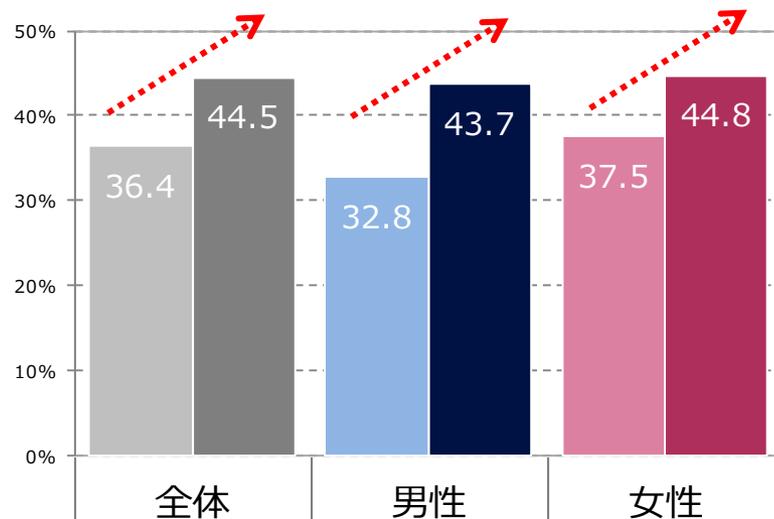
A 白髪へのイメージは？

➤ 2014年8月調査と比べて白髪をポジティブに捉える傾向がやや高まっているため、白髪や白髪染めを1つのオシャレのポイントとして打ち出すことが、白髪に関して前向きに取り組む姿勢につながる可能性がある

白髪も、見せ方によっては
素敵な印象を与えると思う
(TOP2スコア)



おしゃれな白髪の人を見ると、
自分もまねをしてみたいと思う
(TOP2スコア)



2014年8月調査
2016年7月調査

2016年7月調査	n=	1032	254	778
2014年8月調査	n=	1035	255	780

2016年7月調査	n=	1032	254	778
2014年8月調査	n=	1035	255	780

A 白髪が素敵な有名人は？

➤ 男性有名人は50～60代の人を中心であるのに対し、女性有名人は70～80代の年代が高めの人々が想起されやすい。女性有名人は70代頃になるまで白髪を出さない人が多いためと考えられる

全体 n=1032

白髪が素敵な男性有名人

1	鳥越俊太郎 (76歳)	12.6%
2	吉川晃司 (50歳)	12.2%
3	岩城滉一 (65歳)	11.2%
4	高田純次 (69歳)	5.7%
5	舘ひろし (66歳)	3.7%

<6位以下>

- ・ 小泉純一郎
- ・ 北大路欣也
- ・ 関口宏
- ・ 玉置浩二
- ・ 坂本龍一 ……など

※東京都知事選の時期に調査を実施したため、通常よりも「鳥越俊太郎(候補者)」の想起が多かった可能性が高い

白髪が素敵な女性有名人

1	草笛光子 (82歳)	29.1%
2	樹木希林 (73歳)	10.9%
3	中尾ミエ (70歳)	7.6%
4	佐伯チズ (73歳)	2.0%
5	金美齢 (82歳)	1.3%

<6位以下>

- ・ 野際陽子
- ・ 加藤タキ
- ・ 八千草薫
- ・ エリザベス女王 ……など

男性

女性

将来への不安

- 20～40代は特に不安が大きい
- ただし、60代でも7割の人は不安あり

気になる視線

- 職場、友人、配偶者など**異性の目**が気になる
- 特に**同性の友人の目**が気になりがち

染める理由

- 若くカッコよく見られたい、良い印象を持たれたたい、イメージを変えたいなど、**プラスイメージに変えたいという前向きな理由**が大きい
- 身だしなみ、清潔感など、**マイナスイメージを持たれないためのマナー**という意識が強い
- 身だしなみの意識は年代が上がるほど高まる

情報源

- TV・ラジオ、ネット検索が多い
- 若年層は**美容総合サイト/口コミサイトの利用**や、**理美容師に相談**する人が多め

白髪対策

- **6割強は自宅染めのみ実施**しており、サロン染めも利用しているのは3割程度
- 年代が上がるほど、自宅染めの実施率が高まる
- 女性よりも**自宅染めの満足度がやや高め**
- 年代を問わず**サロン染めの実施率は高い**が、加齢とともに自宅染めの割合も高くなる
- 男性よりも自宅染めの満足度がやや低め
- **ちょっとしたイベントごとなどの前**を染めるタイミングにしている人が多い

	男性	女性
サロン染めをしない理由	<ul style="list-style-type: none"> • 価格の高さが大きな理由 	<ul style="list-style-type: none"> • 価格の高さが強い理由であるとともに、時間がかかる点も大きなネックになっている • 若年層ほど、行くのが面倒だと感じている
自宅染めで困ること	<ul style="list-style-type: none"> • ムラなく均一に染められないという仕上がりの不満が最も多い • 部屋や洋服が汚れること、準備や片付けの時間などもネガティブポイント 	<ul style="list-style-type: none"> • ムラなく均一に染められないという仕上がりの不満が最も多い • 男性よりも髪が長いいためか、髪を分け取りながら塗る手間への不満など、女性の方が全体的に不満が多め
白髪男性/女性へのイメージ	<ul style="list-style-type: none"> • 白髪の男性・女性に対しては、老けて見える、疲れて見える、地味などのネガティブなイメージが強い 	<ul style="list-style-type: none"> • 白髪の男性に対しては、落ち着いて見える、シンプル・飾らないなどのポジティブなイメージも挙がるが、白髪の女性に対してはネガティブなイメージが強め
白髪への意識	<ul style="list-style-type: none"> • 白髪も見せ方によっては素敵である、おしゃれな白髪はまねしたいなどのポジティブな意識は2014年8月調査よりも高まった 	

男性

女性

サロン利用 アップへのヒント

【男女共通の打ち手】

➤ サロン染めの「仕上がりのキレイさ」「退色しにくさ」を訴求し、自宅染めから移行

- ✓ 自宅染めの仕上がりや退色の早さが不満として挙がりやすいため、サロンで染めることによる「仕上がりのキレイさ」や「カラーの退色のしにくさ」などを訴求すると効果的

➤ 白髪染めだけのオーダーに抵抗がある層(男性全般や女性若年層)向けのフォロー

- ✓ 男性全般や女性若年層は、サロンで白髪染めだけのオーダーをすることに抵抗を感じやすい傾向があるため、サロンのメニュー表やWebサイトに白髪染めの単品価格を分かりやすく記載したり、白髪染めだけの利用も歓迎する旨を記載したりするなど、白髪染めだけでもオーダーしやすくなるようなフォローが必要である

➤ 年配層の男性には「オシャレなグレーヘア」も 選択肢の1つとして提案

- ✓ 白髪が素敵で有名な男性有名人として50～60代の人が多く挙がり、女性の中には男性の白髪へポジティブなイメージを持つ人も多い。50～60代の年配男性には、黒・ブラウン系の色だけでなく、選択肢の1つとしてグレーヘアの提案をすると、新たな層への広がりを持てる可能性がある



サマリー編

～薄毛調査⇔白髪調査～

A 薄毛・白髪が気になり出した年齢は？

- 薄毛・白髪ともに男性は40歳手前、女性は40歳を過ぎた頃から気になり出す
- 白髪は自分で鏡を見ているときに気付くパターンが多い。また、家族・友人・理美容師など周囲からの指摘が入りやすいのも白髪の方である

薄毛 男性 n=1606
女性 n=548

白髪 男性 n=254
女性 n=778

気になり出した年齢

男性：平均 **38.3** 歳
女性：平均 **41.4** 歳

男性：平均 **37.1** 歳
女性：平均 **41.7** 歳

気になり出したきっかけ	男性	1 鏡を見ていた時	47.5%
		2 家族からの指摘	12.9%
		3 自分の写った写真を見ていた時	8.9%
		4 抜け毛の量を見た時	7.9%
		5 洗髪していた時	7.9%
	女性	1 鏡を見ていた時	39.8%
		2 抜け毛の量を見た時	16.2%
		3 家族からの指摘	12.1%
		4 自分の写った写真を見ていた時	7.8%
		5 友人・知人からの指摘	4.7%

1 鏡を見ていた時	67.7%
2 家族からの指摘	19.1%
3 友人・知人からの指摘	5.3%
4 美容師・理容師からの指摘	3.1%
5 自分の写った写真を見ていた時	2.4%
1 鏡を見ていた時	78.6%
2 家族からの指摘	9.9%
3 美容師・理容師からの指摘	3.9%
4 友人・知人からの指摘	3.8%
5 抜け毛の色を見た時	1.4%

A 髪や頭皮について気になることは？

- 薄毛の人は男女とも、白髪も気になっている人が多め
- 白髪の女性は、白髪の他には髪の量(薄毛)よりも髪の質(パサつきや広がりやすさなど)を気にしがち

薄毛				白髪							
男性 n=1606		女性 n=548		男性 n=254		女性 n=778					
1	髪にボリュームがない・量が少ない	65.3%	1	髪にボリュームがない・量が少ない	75.8%	1	白髪が気になる・多い	81.5%	1	白髪が気になる・多い	86.4%
2	髪が細い・やせてきた	58.8%	2	髪が細い・やせてきた	70.2%	2	髪にボリュームがない・量が少ない	34.1%	2	髪がパサつく	41.3%
3	抜け毛が多い	54.7%	3	髪の分け目が気になる	65.5%	3	髪が細い・やせてきた	31.7%	3	髪が広がりやすい・まとまりにくい	34.5%
4	髪にハリ・コシがない	37.8%	4	髪にハリ・コシがない	62.2%	4	髪にハリ・コシがない	29.6%	4	髪がくせ毛である	31.4%
5	白髪が気になる・多い	32.9%	5	抜け毛が多い	59.8%	5	抜け毛が多い	24.5%	5	髪にツヤがない	29.6%
6	髪の分け目が気になる	24.0%	6	白髪が気になる・多い	52.4%	6	髪がくせ毛である	19.1%	6	髪が細い・やせてきた	27.1%
7	頭皮にかゆみがある	21.6%	7	髪がパサつく	44.5%	7	髪がパサつく	17.5%	7	髪の分け目が気になる	27.0%
8	髪がくせ毛である	20.0%	8	髪にツヤがない	40.8%	8	髪にツヤがない	17.1%	8	髪にハリ・コシがない	26.8%
9	髪にツヤがない	14.8%	9	髪がくせ毛である	37.4%	9	髪の分け目が気になる	16.0%	9	抜け毛が多い	26.3%
10	髪がパサつく	13.8%	10	髪が広がりやすい・まとまりにくい	25.3%	10	髪が広がりやすい・まとまりにくい	15.2%	10	髪にボリュームがない・量が少ない	21.6%

A 誰からの目線が気になる？

➤ 薄毛・白髪ともに、「他人の目すべて」以外に男性は「職場の異性」、女性は「同性の友人」からの目線が気になりがち

気になる目線

薄毛		男性 n=1606 女性 n=548
----	--	-----------------------

1	他人の目すべて	40.8%
2	職場の異性	21.8%
3	職場の同性	19.2%
4	異性の友人	18.8%
5	配偶者	14.3%

白髪		男性 n=254 女性 n=778
----	--	----------------------

1	他人の目すべて	31.4%
2	職場の異性	29.7%
3	職場の同性	24.4%
4	異性の友人	24.2%
5	配偶者	19.1%

1	他人の目すべて	60.8%
2	同性の友人	26.1%
3	配偶者	16.6%
4	職場の同性	15.4%
5	異性の友人	13.5%

1	他人の目すべて	53.1%
2	同性の友人	34.4%
3	職場の同性	22.8%
4	異性の友人	16.1%
5	配偶者	14.8%

A 薄毛・白髪対策の情報源は？

➤ 薄毛・白髪ともに、女性は「知人の口コミ」「理美容師に相談」など、周囲に悩みを相談できている人が男性よりも多め。男性は周囲への相談の機会がほとんど持っていない

情報源

薄毛		男性 n=1606
		女性 n=548

男性	1	ネット検索	55.2%
	2	TV・ラジオ	46.8%
	3	新聞	18.1%
	4	雑誌	15.3%
	5	ネットのバナー広告	13.8%

	7	美容師・理容師に相談する	8.6%

女性	1	TV・ラジオ	53.8%
	2	ネット検索	47.6%
	3	知人から直接聞く口コミ	22.3%
	4	美容師・理容師に相談する	21.8%
	5	新聞	18.5%

白髪		男性 n=254
		女性 n=778

男性	1	TV・ラジオ	50.8%
	2	ネット検索	27.2%
	3	新聞	16.0%
	4	美容師・理容師に相談する	15.0%
	5	ネットのバナー広告	14.0%

女性	1	TV・ラジオ	49.2%
	2	美容師・理容師に相談する	43.5%
	3	知人から直接聞く口コミ	20.4%
	4	ネット検索	19.1%
	5	美容総合サイト/口コミサイト	12.6%

薄毛

白髪

違いがあった点

気付いた
きっかけ

- 自分で気付く場合が多い

- 自分で気付く場合が多いが、**周囲の人間からの指摘**で気付く場合も多い

髪や頭皮で
気になること

- 男女ともに、**薄毛だけでなく白髪も気にしている**人が多め

- 白髪の女性は、白髪以外には髪の量(薄毛)よりも**髪の質(パサつきなど)**を気にする人が多め

違いがなかった点

気になり
出した年齢

- 男性は、**40歳手前**から気になり出す
- 女性は、**40歳を過ぎた頃**から気になり出す

気になる
目線

- 男性は、**異性の目線**が気になりがち
- 女性は、**同性の友人からの目線**が気になりがち

情報源

- 男性は、周囲への相談の機会がほとんど持てておらず、**自身の情報収集で完結**しやすい
- 女性は、知人や理美容師など、**周囲の人間に悩みを相談する機会**を持ちやすい